



まちのトピックス



感謝のフラワーアレンジメント

竜北中と氷川中の3年生が、フラワーアレンジメントに挑戦しました。氷川中では約51人の卒業生が、吉村聖子さん(若洲)の指導のもと、カーネーションやガーベラなどを思い思いにカットし、かごの中の土台に挿して制作しました。

オリジナルのフラワーアレンジメントは、3月3日に行われた卒業式後に、感謝の手紙と共に保護者に手渡されました。



氷川町公民館大会・人権啓発集会

2月26日、文化センターにおいて、令和4年度氷川町公民館大会・人権啓発集会が開催され、65人が参加しました。

生涯学習の活動報告では、地域学校協働活動の報告やふれあい大学の活動報告が行われ、人権啓発集会では、人権啓発作品の入選作品の表彰のほか、認定NPO法人とら太の会の山下順子さんによる人権に関する講演会が行われました。



祝100歳！尾田イシさんが長寿表彰

尾田イシさん(上鹿島)は歌うことが好きで、以前はよくカラオケに行かれていたそうです。現在もテレビの歌番組をよく見られています。

天気のいい暖かい日は、庭で草むしりをしたり日向ぼっこをしたりして過ごされています。

以前から100歳まで生きることを目標にされており、今後は「105歳まで生きることを目標にします」と話されました。



宝くじ助成事業でテントなどを整備

若洲地区が、宝くじ社会貢献広報事業費を財源としたコミュニティ助成事業を活用し、新たにテント・ベンチ・音響セットを整備しました。

若洲地区は、地区内のグラウンドゴルフ大会や外国人技能実習生との交流イベント開催など、これまで積極的に地域活性化活動を行っていましたが、今回の備品整備により、コミュニティ活動がより一層充実することが期待されます。



新たな旅立ち～中学校卒業式～

3月3日、町内2校の中学校で卒業式が行われ、105人(竜北中64人、氷川中51人)が3年間を過ごした学び舎に別れを告げました。

今回の卒業生は、入学直後から長期休校を強いられるなど、常に新型コロナウイルスの影響を受ける中で学校生活となりましたが、3年間で大きな成長を見せました。



- 1 西村校長先生から卒業証書を授与される卒業生
- 2 「時を越えて」を合唱する卒業生一同

氷川中では、卒業生代表の奥村隆斗さんが答辞で「51人の仲間たちとの強い絆は、マスクでさえも遮れない。優しく寄り添って指導して下さった先生方、本当にありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。

式中には時折涙を見せる場面もあった卒業生ですが、最後は笑顔で学び舎を後にしました。



熊日都市対抗女子駅伝・都市対抗熊日駅伝

1月29日、第40回熊日都市対抗女子駅伝大会(7区間・28.0km)が開催され、19都市が出場しました。

3年ぶりの公道開催となった今大会。中学生中心の八代郡女子チームは、他に負けないチームワークで走り抜き、18位と健闘しました。

また、2月12日には第49回都市対抗熊日駅伝大会(14区間・103.3km)が開催され、19郡



- 1 他チームの選手と競り合う藤本悠花選手
- 2 軽快な走りを見せる緒方深心選手

市が出場しました。

八代郡男子チームは懸命にたすきをつなぎ、17位に1秒差の18位でフィニッシュ。

選手集めに苦労しながらも、2区の山口巧翔選手が区間3位、13区の田中清雅選手が区間2位になるなど若手の躍進が目立ち、次に期待が持てる内容となりました。